

1. 科目名 (単位数)	医学概論 (小児保健を含む) (2 単位)	3. 科目番号	EDHE2317						
2. 授業担当教員	横田 俊平								
4. 授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	原則として、「解剖生理学」履修後、または履修中であること。								
7. 講義概要	<p>この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質 (QOL) を豊かにする保健・医療・福祉のあり方についても学び、乳・幼・小児の保育・教育にかかわる専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●小児の発達とリスク因子について理解する。 								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心身の機能と身体構造、および様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化と日常生活との関係を踏まえて理解できるようになる。 2. 乳・幼・小児の健全な発達に寄与する方策が理解できるようになる。 3. 生活習慣病とその予防につき、小児の段階における健康増進の正しい方策について考察できるようになる。 4. 医学の基本的知識を深め、最新の医学・医療への関心を高める。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>宿題： 各宿題は、A4 判、横書き、明朝体 10.5 ポイント、2 ページ (1 ページあたり 40 字×39 行) にまとめて下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 消化器官系の構造と機能について記述してください。(テーマ 4 終了時に提出すること) 2) 保健医療対策について記述してください。(テーマ 1 3 終了時に提出すること)： <p>レポート課題： レポートは、A4 判、横書き、明朝体 10.5 ポイント、3 ページ (1 ページあたり 40 字×39 行) にまとめてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 感染症法について：(テーマ 9 終了時に提出すること) 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 1. 北村論著 『医学概論 改訂 7 版』 中外医学社 2020 2. 中根淳子、他編著 『子どもの保健』 ななみ書房 2019</p> <p>【参考書】 1. 澤口彰子・他著 『人体のしくみとはたらき』朝倉書店、2015 2. 三木成夫著 『ヒトのからだ～生物史的考察』 うぶすな書院 1997</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の機能と疾病について、基本的事項を理解しているか。 2. 疾病の予防、治療、リハビリテーションの方策について理解しているか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題レポート・発表</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td>40%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)	30%	2. 課題レポート・発表	30%	3. 期末試験	40%
1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)	30%								
2. 課題レポート・発表	30%								
3. 期末試験	40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>わが国では、地域包括支援センターが発足し、住み慣れた地域で医療や介護が受けられるようになってきています。保健・医療分野を医師、看護師、薬剤師等の保健・医療専門職者だけに任せるのではなく、栄養士、養護教諭、保育士、ケースワーカー等の多職種が連携することが求められています。それによって、地域の人々が健康で質の高い豊かな生活を送れるようになります。そのためには、医学の知識を共有し、メディカルの質を高めておくことが必要になってきます。本教科目では、医学・医療の歴史を知ると同時に、人体の構造と機能について理解を深めることが大切です。メディアが報じるニュースの中にも、日常的に取り上げられている保健・医療・福祉の問題が多数あります。それらを自ら発見し、自ら解決する目で見ようしましょう。</p>								
13. オフィスアワー	授業中に周知する								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 医学の歴史—感染症を中心に	事前学習	本教科目の学習ノートを準備し、シラバスを熟読してくる。グループ分けを行う。						
		事後学習	感染症を中心にした医学の歴史をノートにまとめておく。						
第 2 回	ヒトのからだの成長と発達、生物の進化からみたからだの構造	事前学習	人体の部位と骨の名称をノートに記載しておく。						
		事後学習	心臓、腎臓、呼吸器、消化器、内分泌器官、大脳をノートに図示し、その構造と機能についてまとめておく。						
第 3 回	出生前小児科学の概要	事前学習	「出生前小児科学」の概要をノートにまとめておく。						
		事後学習	遺伝子病、染色体異常、胎芽病、胎児病について、要点をノートにまとめておく。						
第 4 回	中枢神経系とその疾病	事前学習	中枢神経系とその疾病について調べておく。						

		事後学習	脳出血、脳梗塞、パーキンソン病について、要点をノートにまとめておく。
第5回	循環器系、呼吸器系とその疾病	事前学習	循環器系、呼吸器系とその疾病について調べて、ノートに記載しておく。
		事後学習	先天性、心筋梗塞、高血圧症、不整脈について、要点をノートにまとめておく。
第6回	消化器系、泌尿・生殖器系とその疾病	事前学習	消化器系、泌尿・生殖器系とその疾病について調べ、ノートに記載しておく。
		事後学習	消化性潰瘍、胃がん、肝炎、急性すい臓炎、前立腺がん、腎炎、子宮がん、更年期障害、性行為感染症について、要点をまとめておく。
第7回	代謝・内分泌の疾病とその疾病	事前学習	代謝・内分泌の疾病について調べて、ノートにまとめておく。
		事後学習	糖尿病、痛風、脱水症、パセドウ病、クッシング症候群について要点をまとめておく。
第8回	骨、関節の疾病、造血器系の疾病、	事前学習	骨、関節の疾病、造血器系の疾病を調べてノートにまとめておく。
		事後学習	骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチ、腰椎ヘルニア、白血病、鉄欠乏性貧血について、要点をまとめておく。
第9回	感染症とその予防対策	事前学習	感染症法、予防接種法について調べ、わからないところはノートに記載しておく。
		事後学習	かぜ症候群、節足動物媒介感染症、予防接種について要点をまとめておく。
第10回	神経・筋の疾病、精神疾病	事前学習	神経・筋の疾病、精神疾病について調べて、ノートに記載しておく。
		事後学習	筋ジストロフィー、アルコール依存症、統合失調症、双極性障害、てんかん、認知症について、まとめておく
第11回	健康の概念	事前学習	健康の概念について調べて、理解しておく。
		事後学習	健康日本21、すこやか親子21（第1次）、すこやか親子21（第2次）の要点をノートにまとめておく。
第12回	人口統計と疾病の変化	事前学習	第7章「人口統計と疾病の変化」を読んで、要点をノートにまとめておく。
		事後学習	乳児死亡率、新生児死亡率、周産期死亡率について調べて、要点をノートにまとめておく。
第13回	保健医療対策	事前学習	第12章「保健医療対策」を読んで、要点をノートにまとめておく。
		事後学習	母子保健対策、老人保健対策、歯科保健対策、精神保健対策について調べて、要点をノートにまとめておく。
第14回	医療関係の職種と現状	事前学習	第10章「医療関係の職種と現状」を読んで、理解を深めておく。
		事後学習	各職種の特徴を理解して要点をノートにまとめておく。
第15回	『医学概論、小児保健』のまとめ	事前学習	学習用ノートを振り返り、これまでの学びについて、理解度の程度をチェックし、わからないところは調べておく。
		事後学習	わからないところはもう一度見直して、完成させておく。